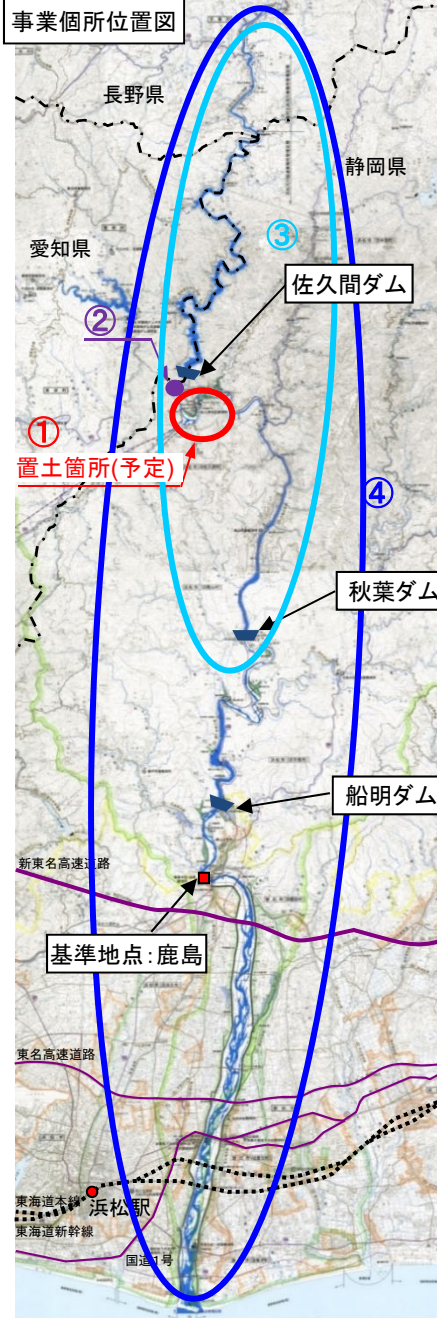


令和5年度の事業内容



天竜川中下流部の洪水防御をするため、既設の利水専用ダムである佐久間ダムを有効活用して新たに洪水調節機能を確保し、また、佐久間ダムにおいて恒久的な堆砂対策を実施することにより、土砂移動の連続性を確保して貯水池の保全を図るとともに、海岸侵食の抑制等への寄与を目指すものです。

今年度は事業費約8.9億円(工事諸費等除く)で、土砂還元及び環境影響の確認を目的とした置土、工所用道路整備及び治水・堆砂対策施設の調査・設計等を実施します。

事業内容

①置土

土砂還元及び環境影響の確認を目的とした置土



令和5年6月1日時点の置土状況

②工所用道路整備

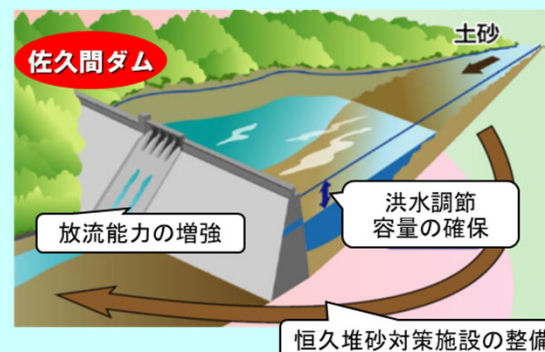
放流能力増強などの施設整備を行うために、佐久間ダム下流部に工所用道路を整備します。



工所用道路整備のイメージ

③治水・堆砂対策施設の調査・設計

洪水調節に必要な放流能力増強のための施設、及び恒久堆砂対策施設の調査・設計を実施します。



④環境調査

放流能力増強や恒久堆砂対策施設整備に伴う環境への影響を検討するため、動植物の生息状況や水質などを調査し、環境レポートをとりまとめます。



水生生物調査



洪水時の濁りの状況を調査